

きょうされん 第47次国会請願署名・募金運動にご協力をお願いします!!

今年も国会請願署名・募金運動が始まりました。

昨年引き続き12月1日にJR長岡駅前にて『がんばるDAY(取り組みのスタートとして、街頭に立ち、署名・募金活動をよびかける運動)』が行われました。当日は天候にも恵まれ温かい日差しの中、道行く人が「がんばってくださいね」と署名・募金に快く応じてくださり、「今年も署名をがんばるぞ」と元気が出る思いがしました。2月からは街頭署名活動も本格的にスタートします。お一人お一人に私たちの願いや思いを訴えていきたいと思えます。

第47次の署名の請願項目は6つあります。どれも私たちの願いや思いがいつぱい詰まった請願項目です。「あたりまえに働き 選べる暮らしを」は今年も大きなスローガンです。先日、最高裁判所が、旧優生保護法の裁判に関して、裁判

官全員で「判断」という異例の手続きを公表しました。

この最高裁の判断を後押しするとともに、優生保護法によって地域の中に広がった優生思想をなくすための取り組みも広げていかないとはいけません。

署名・募金活動を通し障害のある人の「今」を広く理解、共感してもらうためにもたくさんの方が必要となってきました。亀岡福祉会では今年も署名推進委員会を中心に署名・募金運動を展開していきます。是非とも多くの方のご協力をよろしくお願いいたします。



【請願趣旨】

日本が、2014年に批准した障害者権利条約にもとづいて、国連障害者権利委員会による日本の障害者施策の審査が2022年8月に行なわれ、同年9月に総括所見(勧告)が出されました。

その内容は日本の障害者施策がパターナリズム(父権主義)によるもので、障害のある人の人権が尊重されていないという厳しいものでした。

障害者権利条約が求める「他の者との平等」を実現するために、優生思想の克服や障害福祉予算をOECD諸国の平均並みに増大することなどを日本政府は責任をもって進めるべきです。

今、障害のある人の生活や事業所運営は、収束を見ない新型コロナウイルスやかつてない物価高によって、ますます厳しくなっています。

障害のある人の人権が守られ、安心した生活が送れるよう、以下要望します。

【請願項目】

1. 国は責任をもって早期に優生保護法問題の全面解決を図り、優生思想をなくすことに力を尽くしてください。
2. 障害のある人がコロナ等の感染症に感染しても、安心して医療を受けられるようにしてください。
3. 障害基礎年金を増額するなど、障害のある人の所得保障策を拡充してください。
4. 障害福祉事業における障害のある人と家族の自己負担をなくしてください。
5. 障害のある人が65歳になっても、必要な支援を自ら選んで、自己負担なく利用できるようにしてください。
6. 障害のある人に充実した支援ができる安定した事業所運営のために
 - (1) 職員不足の要因である低賃金を解消するため基本報酬を大幅に引き上げるとともに、報酬のうち人件費等の固定費は月額払いとしてください。
 - (2) 物価高に苦しんでいる障害児者事業所に対して、助成措置を講じてください。
 - (3) 地域活動支援センターが安定して運営できるよう、国の責任で制度を拡充してください。

地域とつながる



草刈り作業や保津ふるさと文化祭、 つながりがいっぱい

せきもと たくお

保津町自治会会長 関本卓男様 インタビュー



写真中央が会長の関本様

第三かめおか作業所とデイセンターがあればがいつもお世話になっている保津町自治会の会長、関本卓男様に、自治会の仕事や作業所との関わりについて話をうかがいました。

■ 自治会の仕事について教えてください。

保津は昔から保津川の逆流による浸水被害が甚大でした。この被害を契機に根本的に被害をなくすために、国や京都

府、亀岡市に河川の整備をお願いしています。

平成29年の台風によって、町の上流にある愛宕谷川に杉の木等が倒れ、水尾への道路が通行できませんでしたが、3年かけて倒木処理や道路工事を市にしてもらいました。また、保津保育所の移転工事や文化財に指定されている八幡宮での消防訓練を行いました。他には、電線や電話線に倒れた竹を切りに行ったり、町民の生活に直結した対応を

しています。

また、第三かめおか作業所近くにあるバス停留所のトタン屋根が劣化して取り壊そうという話になりましたが、作業所の方も利用されているので、雨がしのげるよう新しく屋根のトタン板の付け替えと柱の塗装を亀岡市にしてもらいました。

■ 作業所とのかかわりについて教えてください。

保津町共同墓地のまわりの草刈りを第三かめおか作業所さんに依頼しています。また、毎年11月に行われる保津「ふるさと文化祭」で、シフォンケーキなどのお菓子の販売や、ステージでの発表をしていたきました。年末には敬老者訪問をしています。その際、第三かめおか作業所のお菓子の詰め合わせをプレゼントしています。

〜インタビューを終えて〜

保津町で暮らす誰もが住みやすいように、住民の要望に応えられるようにと、毎日がんばっておられる自治会の皆さまに、あらためて感謝の気持ちでいっぱいです。自治会の玄関に掲げられているスローガン「大家族宣言のまち・わたしたち保津町民は心の通いあう家族です」には保津にいられた方は「家族」であり、誰でも仲良くやっていきたいという願いが込められているそうです。そんな温かい保津町の皆さまと、これからも歩いていきたいと思えます。



自治会よりいただいた花を作業所敷地内の花壇に植えるメンバー(右)

「ちょっと聞いてよ！」

第48回

わたなべ あつよ
渡邊 淳代さん
(デイセンターぼれぼれ)



月曜日から金曜日、デイセンターぼれぼれに通う渡邊さん。毎日ホームひまわりで生活しながら通っています。そんな渡邊さんに色々質問しました！

ーぼれぼれで楽しいことは何ですか？

レクリエーションです！特にゲー
トボールが楽しいです。
音楽や創作の活動も楽しいです。

ー好きなことは何ですか？

中森明葉の歌が好きです！
ぼれぼれでカラオケの活動の時中
森明葉のDISCOを歌っています。

ーぼれぼれではお風呂の日があり
ますがお風呂は好きですか？

好きです。お風呂上がりに職員
に頼んで髪をあんでもらったりマ
ニキュアをぬってもらってオシャレ

レするのも好きです。

ー腕につけてるピアスは自分で作っ
ているんですか？

そうです。自分で買って自分で
作っています。ホームでも作って
います。出来上がったときとても
嬉しいです。

ーホームでの生活はどうですか？

皆としゃべってテレビを見たり
話をしたりして楽しくすごしてい
ます！

ー休日はどんな感じですか？

ホームの皆で遊んだりしてすご
しています！

ーこれからの目標は何ですか？

これからもぼれぼれで皆といっ
しょに楽しくやっていきたいです。

ご寄付

11 / 30 株式会社 能勢工務店 様

インスタントコーヒー

12 / 18 まるまる&のうふくマルシェ 様

金一封ト

ご寄付ありがとうございました。

時

私の好きなこと
はピアノを演奏す
ることと歌を歌う
ことです。ピアノ

かげで、結婚するまでの約
7年程、仕事をしながらレッ
スンに通いました。

は幼少の頃に習っていました
たが、レッススが厳しく、
ある日行くのを頑なに拒み、
辞めてしまった思い出があ
ります。でも音楽は大好き
だったので、ピアノを弾く
ことが嫌にならなかつた
のは幸いでした。

結婚して一旦離れていた
ピアノでしたが、約20年の
ブランクを経て再びレッ
スンに通い、気づけば1年が
経っていました。仕事をし
ながらなので、なかなかゆっ
くりじっくりピアノに向か
う時間がないのが現状です
が、たとえ10分でもピアノ
を弾いていると、その音色
に癒されストレス発散にも
なっています。仕事でもピ
アノを弾いてみんなで歌っ
たり、メンバーと1対1で
歌ったりする機会があり、
自分の好きなことができる
喜びを感じています。

私が高校の卒業を迎えた
ころに、今は亡き父が勤め
ていた会社の方からピアノ
を譲り受けたのをきっかけ
に「ピアノがあるのにもつ
たいない。もっと上手く弾
けるようになりたい！」と
思い、大人になってからも
う一度習い始めました。そ
の時に出会った先生にピア
ノを弾くことの楽しさを改
めて気づかせてもらったお

《ピアノが弾けるおばあ
ちゃん》を目標にこれから
も続けていきたいと思っ
ています。